

#### 目次

- ◇ LOOB NEWS (P1)
- ◇ NHK 地球ミッション 撮影 (P2)
- ◇ 学校給食プロジェクト (P3)
- ◇ English Activity 再開 (P4)
- ◇ 寄贈のお知らせ (P5)
- ◇ 新ボラスタ紹介 (P6)
- ◇ フィリピン文化紹介お酒編 (P7)
- ◇ 2010年後半の予定 (P8)

#### — LOOBについて —

口オブ: 2001年に発足し、現在は北海道、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡の有志が国際交流・協力系のプログラムを実施しています。フィリピンではビサヤ圏パナイ島のイロイロ市を拠点に、非政府組織 (NGO) 法人として多くの青年ボランティアが活動中。

フィリピンと日本の草の根的な相互理解を促進し、物的・人的支援の提供でコミュニティを支援しています。

LOOBメンバーや現地ボランティア・スタッフを募集しています！



LOOB JAPAN  
北海道北見市三楽町126-19  
Tel/Fax: 0157-24-9339



LOOBフィリピン事務局  
Lot23 Blk15 NHA2  
Mandurriao, Iloilo city  
Philippines 5000  
Tel/Fax: 63-33-321-2040  
Eメール: info@loobinc.com  
団体HP: www.loobinc.com

#### 【LOOBからご挨拶】

日本ももうすぐ梅雨明け、暑い季節に突入ですね。フィリピンでは水不足と停電という二重苦に翻弄されながらも、私たちLOOBスタッフ&ボランティアは毎日元気に活動しています！

私は今年5月に日本に帰国し、東京、大阪でメンバーの定例会に参加しました。LOOB JAPANの活動はフィリピン現地の活動にとって「縁の下の力持ち的な存在」。地道な活動ながらも、とても明るくイキイキと活動してくれるメンバーに再会できてとても嬉しかったです。今回の帰国では企業との打ち合わせがたくさんありました。より多くの人にLOOBの活動を知ってもらうために、企業に頼めることは企業の力を借り、私はできるだけ現地でやれる業務に集中して行きたいなあと夢想しているところです。

6月には新しいボランティアスタッフ2名と共にフィリピンに帰ってきました。4～5月はLOOBも休息期間でしたが、6月からまた活動を再スタート！ブログでも活動報告していますので、皆さんぜひ読んでくださいね！

**LOOBブログ:** ハロハロDeイロイロ 南の島のNGO活動と生活記 (Part II)

<http://loobinc2.exblog.jp/>

(LOOB代表 小林幸恵)

#### LOOB関東アースデイ & たかフィリピン事務局訪問

LOOB JAPAN東京では、2010年4月17、18日、東京代々木公園で行われたアースデイに参加しました。アースデイはジュースパック製品や、ココナッツ製品などの雑貨のみの販売なので客足が心配でしたが、メンバーやキャンパー達が力を合わせて頑張ってくれたおかげで、無事大盛況のうちに終わることが出来ました。

2010年秋予定のグローバルフェスタでは食べ物の販売もできるので、さらに売り上げが伸びよう頑張りたいと思います。

さて、僕は1年半ぶりにフィリピン事務局にきましたが、学校給食が始まり、毎朝LOOBスタッフが準備に追われています。とても大変な仕事ですが、子ども達がおいしそうに食べているのを見ると、疲れも吹き飛びます。以前はあまり学校に行かず、英語があまり話せなかった子ども達が英語で話しかけてくるのを見て、教育支援の重要性も実感できました。また、ラーニングセンターの拡張工事も始まっており、自分がスタッフをしていた頃よりはるかに活動が拡大したLOOBに驚きました。LOOB JAPANもこの流れに乗ってどんどん躍進していきたいです。

(LOOB JAPAN 関東 たか)



(ジュースパック販売の様子)

# NHK BS 地球ミッション 撮影終了



7月第1週に、1週間にも及ぶ、NHK BS「地球ミッション」の撮影が終了しました！放送予定日は10月1日予定です。番組ホームページをぜひチェックして頂けたらと思います。

<http://www.nhk.or.jp/mission-blog/>

そもそもなぜ、NHKの撮影があったかというところ、LOOBが以前から支援している小学5年生のアンヘリト君と、昨年LOOBに参加した鳥取大学医学部の鈴木さん、そして島根県石見銀山の近くにあり義肢装具の開発販売を手掛ける「中村ブレイス株式会社」との、3者のご縁があり、NHKが番組を作成することになりました。

LOOBがテレビ番組の撮影を受けるのは初めてのことなので、何かとあたふたする場面がありました。日本とフィリピンでのメールでの打ち合わせによる相互の誤解であったり、事前に現場視察に訪れた方と撮影クルーによる連絡ミスだったり、一つの番組を作るってことは、やはりすごく手間がかかっているのだと実感しました。

ロケ中行動を共にしたのは、NHKから撮影スタッフ6人、毎日新聞社の記者の方1人、中村ブレイスさんから3人、そしてLOOBから、ロイさん、幸恵さん、ボランティアスタッフの僕と紀夏さんの総勢14人でした。撮影中のこぼれ話としては、LOOBスタッフのロイさんが、堂々と何度も撮影に応じていたことが、印象に残っています。撮られるのが基本的に好きなロイさんは、自分の声がラストサムライに出演していた「渡辺謙」さんの声で吹きかえられれば良いかと切望していました(笑)。

また、撮影クルーを見ていてさすがプロだと思ったのは、どんな場面でも撮りたい絵をとるために、状況に動じずさっと行動していたこと。特にカメラマンと音声の方は、撮影中完全に気配を消しているところに、プロは違うと感じました。

実際に撮影したのは、アンヘリト君一家の様子と学校生活、アンヘリト一家の裏にあるイロイロ市ごみ投棄場での母親の働く様子、フィリピンの義肢装具師、竹細工士らと共にフィリピンの竹を使った義足開発の様子等を、1週間の過密スケジュールで撮影していました。

今回の番組のストーリーとしては、「アンヘリト君の成長により以前使っていた義足が合わなくなり、1年間義足を使わない生活をしていました。そこで、中村ブレイスさんの中村社長を始めとした一行が、サイズを調節した、新しい義足をプレゼントする。そして、さらに、子供の成長によってまた同じ事が起こらないように、開発途上国でも作れる、安価で、通気性が良く、素人でも誰でも調節ができるような竹でできた夢の義足の開発を模索する」というシナリオのようです。



個人的に撮影期間に非常に嬉しく感じたことは、今回の撮影で、凄く恥ずかしがり屋だと思っていたアンヘリト君が意外に堂々と撮影を受けていたこと、そして撮影後はLOOBが行っている給食を一段と元気に食べていたことの2点です。10月の放送が非常に楽しみな反面、誇張した内容や偽りのない放送を祈るばかりです。皆さんもぜひ観て下さいね！

(現地ボラスタ 敬太)

## 学校給食プロジェクト 開始

味の素さんの助成による給食事業が開始しました。

対象は、マンドリアオ小学校の生徒の中から、小学1～4生のBMI指数の低い子供200人を対象とした、平日週5日のプログラムです。初日は、買い出し班は5時起き、7時過ぎから料理を作り始め、それと同時に、全部で1000個となるプレート、スープ用ボール、コップ、フォーク、スプーンを洗い、拭く作業を行っていました。僕は、その食器洗い班で、ひたすら洗っては拭いての作業を、他のフィリピン人スタッフと楽しくやっていました。



初日まで給食の会場下見や、スタッフ間でのミーティング、学校の校長、副校長、保護者、その他関係者との連絡調整など、現地の言葉(パナイ島はヒリガイノン語)が分からないなりに、ひたすらロイさんのミーティングに同行しました。

初日まで、どうなることやらと心配でしたが、なんとか皆さんのおかげで、大きなトラブルもなく無事初日を終わることができました。現在、2週目に入った給食事業も小さな問題点も徐々に改善され、配膳の流れ、栄養指導のレクチャー等、スムーズになってきました。

フィリピンの子供達(特にごみ投棄場の近くに住むカラフナンの地域の家庭の子供)にとっては、LOOBの給食が一日のうちの非常に重要な一食となるケースが多々あります。現実として自宅の食卓の栄養バランスが整っていなかったり(白ご飯とバナナが朝食と夕食をしめている等)、経済的な理由で十分な量の野菜を摂ることが出来なかったりする家庭の子供達にとっては、たかが一食、されど一食なのです！

最近では、子供達も給食のシステムに慣れ始め、食が細い子が「ライス、ライス」っと、2杯目をおかわりしたり、友達と嫌いな野菜を食べようと一緒に頑張る子がいたり、日々子供達の成長も感じることができ活動の成果が見えて嬉しく思っています。これからもより良い給食運営ができるよう、スタッフ間で連携をうまくして活動していけたらと思っています。(現地ボラスタ 敬太)



## Kids English Activity 再開！



夏休みのため、4月以降休止していたKids English Activityが6月末から新ボラスタ2名を迎えて再開しました。6月26日のナムコン村での活動を皮切りに、カラフナン、そしてギマラス島タラバハン村でも活動を再開、久しぶりのKids Activityに参加した子ども達はとても嬉しそうでした。

再開第1回目のActivityは、教育スポンサーに宛てた各自の近況を伝える手紙を書く、Letter Writing Activityとなりました。すぐに手紙を書き始める子、なかなか書くことが分からずボランティアスタッフに助けを求める子、友達同士で内容を見せ合ったり、逆に恥ずかしがってスタッフにも手紙をみせたがらなかったり・・・と、それでもみんな一生懸命英語で手紙を書いている姿は可愛らしかったです。

Letter Writingの後には、近況確認のためのインタビューと写真撮影。みんな、今回初めての日本人ボランティアスタッフと話すのに少し緊張しながらも、大きい子たちは英語でしっかりと応対し、小さい子たちは時々イロゴ語の通訳を交えながらも拙い英語で一生懸命インタビューに応じてくれました。印象に残ったのは、「大きくなったらなにになりたい？」という質問に対して、みんないろいろな夢を語ってくれるものの、どの子も必ず「誰かの役に立ちたい」からその仕事をしたいと答えていたことです。「両親のために」家を建てれる大工さんになりたい、「未来の子供たちのために」学校の先生になりたい、「困ってる人たちのために」看護婦さんや警官になりたい・・・など、小さいながらも他人のために何かをしたいと願うその姿勢に感銘を受けました。

各地域でのActivityは、数時間から半日程度ですが、それでもActivityが終わって帰る頃には、みんな最初の緊張感もう全くなり、「ありがとう！」「またね！」と笑顔で帰っていく子供たちの後ろ姿がその日1日の疲れを癒してくれているようでした。 **(現地ボラスタ のりか)**



## 物資・衣類の寄贈のお知らせ



LOOBでは、カラフナンやナムコン村、ギマラス島のタラバハン村などの貧困家庭への衣類・生活用品の寄贈をはじめ、地元の幼稚園・保育所、小学校・高校に文房具・楽器・英語に翻訳した絵本などを寄贈しています。

### 《6月の寄贈先》

- ・イロイロ市都市貧困者の会の保育所へ(文房具・絵本・ぬいぐるみ)
- ・ウェストピッカーら母親に(石鹸)

### 《7月の寄贈先》

- ・マンドリアオ小学校へ(文房具)
- ・Kids Activityに参加した子供(文房具)
- ・ドナト・M・ピソン・メモリアル小学校(北海道美幌市の山名田静さんが呼びかけて集めたピアノ70台を寄贈)

LOOBでは少し前にも、大阪府羽曳野市立丹比(たんび)小学校の方から頂いた25台のピアノを現地に寄贈しています。

ドナト小学校では、寄贈と同時にLOOBで週1回の音楽(ピアノ)クラスを担当しています！

ご家庭・企業などで不要となった物、ずっと押し入れに眠っている物、捨てるにはもったいなくて取っている物などありませんか？日本では不要とされるようなものでも、こちらでは手に入らないものだったり、お店に売っていても高かったりと、どんなさり気ないものでもみんな感謝して大事に使用しています。興味がある方、募集している物資などに関してはこちらのサイトを参照してください。

<http://www.lobinc.com/dn01.html>

(現地ボラスタ のりか)



## 1か月を振り返って 新ボラスタより

### 現地ボラスタ のりか:

NGOという言葉も仕事内容も莫大としたイメージしか持たずにLOOBにやってきて早1ヶ月。仕事内容をはっきりと把握しないまま、終わりのない大量の仕事に追われ、毎朝6時にはお向かいの建設現場の仕事始めの騒音で目が覚め、近所の野良犬の喧騒を子守唄に寝て、日々ある停電にいい感じに仕事の邪魔をされ、毎日30℃超えの日常を送っていると、不思議なことにホームシックどころか、もうLOOBに来て1年位経ってるような錯覚になります。

それでも、今までの自分の価値観が通用しない場面に遭遇する度に、今までいかに自分が平和にまったりと自分のことを中心に生きてきたか愕然としてばかりです。そして、その自己嫌悪を癒してくれる子供たちの最高級の笑顔！日本の子供たちより全てにおいて大変な生活を送ってるはずなのに、出会う子みんな、素敵な笑顔で毎日を精一杯生きています。

親をサポートし、兄弟たちと助け合い、学校では思いっきり学んで遊んで、新しいこと・知らないことを全て吸収しようとし、誰かのために自分の出来る限りのことをしようと頑張り続ける子供たちの姿勢に癒され、背を押され毎日を過ごしています。NGOの何たるかは未だによく分かりませんが、多分、この笑顔を守るために、この先もずっと笑ってられるように、ほんの少しでも彼らの未来をサポートできるように自分の出来る限りのことを頑張る、そこから1歩ずつ彼らと一緒に進めばいいんだろうなとぼんやりと思いながら仕事に追われ続けた1ヶ月でした。これから12月までの半年間、よろしくお願い致します。

### 現地ボラスタ 敬太:

新・現地ボランティアスタッフの敬太です。この度、6月末から、ボランティアスタッフとしてお世話になってます。

フィリピンについての印象は、マニラ到着後は、3日間マニラを散策したのですが、高いビル、デパート、カジノ、コンビニなどあり、世界の大都市だけあって、東京と似ている部分がありました。その後マニラでのりかさん、幸恵さんと合流し、パナイ島イロイロ市に向かいました。イロイロ市はマニラとは違い、空気も綺麗で山もあり、田舎であることに非常に嬉しく思いました。僕には田舎が似合うようです。

今回がフィリピンは初めてですが、着いて思ったのは、ここはアジアの一部だということ。個人的に他の東南アジア数カ国には行ったことがあり、このじめじめとした一年中暑い環境や日差しの強さ、たまに起こる停電、現地の人々の陽気さなど、他の国と似ている部分が多くあり親近感がありました。

仕事をしているLOOBハウスには、気さくなフィリピン人スタッフが多く、充実した日々が過ぎていきます。これからの夏には、様々なキャンプがあり忙しくなりますが、一つ一つの仕事を確実にこなし、自分も楽しんでいけたらと思っています。これから宜しくお願い致します。

## UCLA移動とラーニングセンター2 建設開始

ジュースパックを生産していたUCLAが、ラーニングセンター1の一角に移動することとなり、以前UCLAがあったマーケットの2階は、ジュースパック製品のショールームにする方向で話が進んでいます。

また前回のニュースレターでお伝えした民間企業であるせっけんのLUSHさんからの助成により、ラーニングセンター2の建設が始まりました。それに伴い、ラーニングセンターで働かれる家族にとって、より働きやすい環境を整えたいと、デイケアセンター(フィリピンでは託児所の役割)の併設に向け建設が始まっています。(現地ボラスタ 敬太)

## フィリピン文化紹介 お酒編

フィリピンの文化の中で、お酒についてを紹介いたします！フィリピンのお酒で一番よく飲まれているのが、ビールです。サンミゲル社から出ているフィリピン人なら誰もが知っている、サンミゲルビールは、歴史も大変古く、フィリピン人に非常に人気があります。飲みやすく、かわいい小瓶に入って出てきます。LOOBスタッフの暮らしているLOOBハウスでも、ゲストが来るときは、サンミゲルビールが必ず用意されています。さらにこのビール、他の国にも輸出されていて、香港では、生力、ジョンリービールと呼ばれてよく飲まれています。

他にも有名なフィリピンのお酒は、ジンやココナッツ酒などありますが、ここではラム酒を紹介いたします。フィリピンは昔からサトウキビの産地であり、あまり日本には知られていませんが、非常に良質なラム酒が作られています。中でも「タンデュアイ」は驚きの旨さで、LOOBスタッフも飲み会になると必ず飲んでいきます。さらに値段がお手頃で、小瓶375mlが20ペソとなっており、40円程度です。上記のお酒は、日本でも飲むことは可能ですので、機会がありましたらフィリピンの方が経営されているお店等にご来店されてはいかがでしょうか。度数が少し強いので、お気をつけて！



サンミゲルビール



タンデュアイ



蒸し暑いフィリピンにはのどごしスツキリのサンミゲルがとても美味しく感じられます！

次回のニュースレターでは、「料理編」と、「LOOBスタッフ紹介編」を特集します！  
(現地ボラスタ 敬太)

## 2010年後半の予定

### ☆マンドリアオ小学校にて食育プログラム(現在実施中～2011年)

小学1～4年生の発育不良の生徒200名を対象に毎日給食プログラムを実施中。体の発育+健康に考慮したメニューを政府機関から貰い、子供たちに食べ物の大切さを教えながらランチを配給。毎月プログラム参加の生徒や保護者にセミナーなどを行ったり、9月からは、学校菜園を作るなどして生徒・保護者に食の大切さを教えるプロジェクトも計画中。

### ☆ドナト・M・ピソン・メモリアル小学校で音楽クラス(現在実施中)

北海道美幌市の山名田静さんがよびかけて集めた鍵盤ハーモニカ70台を地元の小学校に寄贈。それに伴い、音楽専攻だったのりかさんを先生として、3年生以上の希望生徒、50人ほどに鍵盤ハーモニカの音楽クラスを毎週金曜日に開いています。

### ☆カラフナン多目的ラーニングセンター増築工事(現在実施中)

東北楽天イーグルスの岩隈選手の支援の下、今年1月に完工したカラフナン多目的ラーニングセンターに、「ジュースパック製品裁縫プロジェクト(UCLA)」がついに入居しました。さらに託児所などを併設するため、LOOBは7月初旬に増築工事を開始。週末の英語アクティビティに参加する子ども達も増えているので、カラフナンの住民にとってさらに利用価値の高いセンターとなる予定です。

### ☆7月26日～8月3日:第39回日韓比ワークキャンプ(パナイ島バロタックビエホ)

海沿いの漁村で日本人+韓国人+フィリピン人のキャンパーが集い、マングローブ植林などのコミュニティワークを行い、漁業資源の保護を目指すとともに、地元の小学校での文化紹介など異文化交流をしながら3国の相互理解を深めるプログラム。

### ☆8月6日～17日:第40回ワークキャンプ(イロイロ市内ナバイス)

イロイロ市内のごみ投棄場周辺コミュニティにホームステイしながら、現地で直面している環境問題や教育問題について学ぶプログラム。また地元小学校で授業などを行ったり、子供たちの保健衛生の改善に取り組む活動も行う予定。

### ☆8月19日～30日:ALPHA教室建設ワークキャンプ

関東中心の学生団体ALPHAとのコラボで、農村部の学校に教室を建設します。

### ☆9月5日～12日:ISAPエコキャンプ

関西中心の学生団体ISAPさんとのコラボで、漁村をベースに環境系の教育支援を行います。

## 編集後記～水不足と停電を乗り越えて～

今年3～4月の乾季はラニーニャ現象で雨がまったく降らず、LOOBハウスにある2つの井戸も完全にカラカラに><。6月からやっと雨が降り出し、井戸の水位も戻ってきましたが、LOOBハウスの住人は現在スタッフとその家族を含めて15名ほど！さらに7月から学校給食を開始し、LOOBハウスで300～400セットの食器を井戸で洗っているの、水不足は常に頭痛の種となっています。

それからほぼ毎日停電になります。予期せぬ停電に仕事の腰を折られながらも、このニュースレターを完成してくれた敬太&のりかちゃんに感謝です！

このニュースレターの内容に関するお問い合わせは[info@loobinc.com](mailto:info@loobinc.com) まで

(編集: 敬太、幸恵)